

令和7年度
(2025 度)用

東小岩小学校

生活科 評価規準【1年】

単元名	どきどき わくわく 1ねんせい		教科書のページ	上 p.1～13
配当時数	8 時間	活動時期	4 月	学習指導要領の内容 (1)

単元の目標	学校生活に関わる活動を通して、幼児期の教育での経験を思い起こしながら、学校の中を歩いたり、友達と関わったりし、学校の施設の使い方や友達のよさに気付くとともに、友達や先生と学校生活を過ごすことの楽しさを実感し、安心して遊びや学習をしていこうとすることができるようになる。
-------	--

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	学校生活に関わる活動を通して、学校の施設の使い方や、友達のよさに気付いている。	学校生活に関わる活動を通して、幼児期の教育で使っていた施設との共通点を見付けている。	学校生活に関わる活動を通して、友達や先生と学校生活を過ごすことの楽しさを実感し、安心して遊びや学習をしていこうとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
どきどき わくわく 1ねんせい ・幼児期の教育で使っていた施設との共通点を見付けながら、学校の中を歩いたり、友達と関わったりする中で、学校の施設の使い方や友達のよさに気付くとともに、友達や先生と学校生活を過ごすことの楽しさを実感し、遊びや学習をしていこうとすることができるようになる。 p.4～9	8 +国語 4 2/3 (書写 2/3) +算数 2 +音楽 1 1/3 +図工 1 2/3 +体育 4 1/3 +道徳 1 +学活 5	<u>はじめまして きょうしつ</u> 1日目:学校生活の過ごし方や教室の使い方を考える。 2日目:名刺をつくって自己紹介をする。 3日目:校庭に出かけ、みんなで遊ぶ。 <u>はじめまして ともだち</u> 4日目:教室や校庭で遊んだりして、友達と関わる。 5日目:学校や校庭を歩いたり、生き物を探したりする。 6日目:学校生活について話したり、人数集めゲームをしたりする。 <u>はじめまして がっこう</u> 7日目:学校の中をみんなで歩いてめぐり、見付けた物を友達と話す。 8日目:学校をみんなで歩いたり、校庭で遊んだりして、見付けた物や遊んだことを絵に描く。	[知技] 学校の施設の使い方や、友達のよさに気付いている。 [思判表] 幼児期の教育で使っていた施設との共通点を見付けながら、学校の中を歩いている。 [態度] 友達や先生と学校生活を過ごすことの楽しさを実感し、安心して遊びや学習をしていこうとしている。

単元名	がっこう だいすき			教科書のページ	上 p.14～25
配当時数	12 時間	活動時期	4～5 月	学習指導要領の内容	(1)

単元の目標	学校探検や通学路探検を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々と自分との関わりを見付け、学校生活を支えている人々や友達のことが分かるとともに、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全に登下校をしたりすることができるようにする。
-------	--

単 元 の 評 価 規 準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	学校探検や通学路探検を通して、学校での生活はさまざまな人や施設と関わっていることに気付いている。	学校探検や通学路探検を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々と、自分との関わりを見付けている。	学校探検や通学路探検を通して、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全に登下校をしたりしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
ともだちと がっこうを たんけんしよう			
・学校のことを知りたいという思いをもち、自分の教室と比べながら学校を探検する中で、学校の施設の特徴に気付くことができるようにする。 p.16～17	3 +国語 I	① みんなで行った場所を思い出し、班ごとに探検に行く。 ② 見付けた物、こと、会った人について伝え合い、もう一度班ごとに学校探検に行く。 ③ 前回の探検について話し合い、班ごとに別の場所へ学校探検に行く。 ④ 見付けた物やこと、会った人について伝え合い、不思議に思ったことやもっと知りたいことを話し合う。	[知技] 学校の施設の特徴に気付いている。 [思判表] 自分の教室と比べながら、学校の施設の特徴を探している。 [態度] 学校のことを知りたいという思いをもち、行きたい場所を選んで探検しようとしている。
がっこうにいるひとと なかよく なろう			
・自分との関わりを思い描きながら学校にいる人に話したり質問したりする中で、学校にいる人々の働きや役割に気付くとともに、ルールやマナーを守って探検しようとするができるようにする。 p.18～19	4 +国語 I	① 教科書を見て、どんな人にどんなことを聞きたいか、みんなで話し合う。 ② 聞かるときに気を付けることを確認し、聞きに出かける。 ③ 分かったことや気付いたことをみんなで伝え合う。 ④ もう一度、聞きに出かける計画を話し合い、知りたいことを聞きに出かける。 ⑤ 探検を振り返り、分かったことや気付いたことをみんなで伝え合う。	[知技] 学校にいる人々の働きや役割に気付いている。 [思判表] 自分との関わりを思い描きながら、学校にいる人に話したり質問したりしている。 [態度] 学校の施設ごとの特徴に応じて、ルールやマナーを守って探検しようとしている。
がっこうで みつけた ことを つたえよう			
・学校の施設やそこにいる	3	① 学校探検で見付けた人・物・こと	[知技] 自分の学校での生活は

人々との関わりを意識しながら自分なりの方法で表現する中で、自分の学校での生活はさまざまな人や施設の働きに支えられていることに気付くとともに安心感をもち、これからも遊びや生活をしていこうとすることができるようになる。 p.20～21	+国語 1	の中から一番伝えたいことを決める。 ②伝えたいことを絵や文で表したり実物や動画を用意したりして、伝える準備をする。 ③自分の決めた方法で発表し、発表した絵や言葉、写真等を学校の絵地図に付け足す。 ④友達の話を聞いて分かったことや気付いたことを話し合う。	さまざまな人や施設の働きに支えられていることに気付いている。 [思判表] 学校の施設やそこにいる人々との関わりを意識しながら、自分なりの方法で表現している。 [態度] 自分の学校生活がさまざまな人や施設に支えられていることに安心感をもち、これからも遊びや生活をしていこうとしている。
みんなで つうがくろを あるこう			
・みんなで通学路を歩く活動を通して、通学路の様子や、安全を守っている施設や人々の存在に気付くとともに、自分の登下校が安全を守る人々や施設に支えられていることを実感し、これからも安全に登下校をしようとするができるようになる。 p.22～23	2	①教頭先生などから学校の安全についての話を聞き、通学路にある、安全を守るための物や人について話し合い、みんなで学校の周りを歩く計画を立てる。 ②学校周辺の通学路の1コースをみんなで歩き、気付いたことを話し合う。	[知技] 通学路の様子や、安全を守っている施設や人々の存在に気付いている。 [知技(習慣や技能)] 通学路を歩く際、安全に気を付けて行動している。 [態度] 自分の登下校が、安全を守る人々や施設に支えられていることを実感し、これからも安全に登下校をしようとしている。

単元名	はなを さかせよう			教科書のページ	上 p.26～37
配当時数	8 時間	活動時期	5～9 月	学習指導要領の内容	(7)

単元の目標	植物を継続的に栽培する活動を通して、それらの育つ場所、成長の様子に関心をもって働きかけ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、植物に親しみをもち、大切にしようとするができるようにする。
-------	---

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	植物を継続的に栽培する活動を通して、植物は生命をもっていることや成長していることに気付いている。	植物を継続的に栽培する活動を通して、植物の育つ場所、成長の様子に関心をもって働きかけている。	植物を継続的に栽培する活動を通して、植物に親しみをもち、大切にしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
たねを まこう			
・花を咲かせたいという思いをもち、たねを観察したり比べたりしながら植物の特徴に気付くとともに、植物に心を寄せ、大切に育てていこうとすることができるようにする。 p.28～29	2	① 幼児期の栽培経験を教え合い、教科書を見て植物の花を確認したり、実際にたねを観察したりしながら育てたい植物を決め、たねをまくために必要なことについて話し合う。 ② たねまきをした感想を友達や先生に話したりカードにかいたりする。	[思判表] 観察したり比べたりしながら、植物の特徴を探している。 [態度] 花を咲かせたいという思いをもち、植物に心を寄せ、大切に育てていこうとしている。
はなを そだてよう			
・幼児期や日常の経験を思い起こしたり、友達の育てている植物と比べたりしながら世話の仕方を決め、世話をする中で、自分の育てている植物が成長していることに気付くとともに、成長の様子に応じて、世話を工夫しようとするができるようにする。 p.30～31	1	常時活動 朝の時間や休み時間などを使って、成長の様子を観察したり、鉢の置き場所や水やりの仕方などを相談したりして世話を続ける。 ① 植物の世話をしている気付いたことを紹介し合い、よりよい成長のために必要なことについて話し合う。	[知技] 自分の育てている植物が成長していることに気付いている。 [思判表] 幼児期や日常の経験を思い起こしたり、友達の育てている植物と比べたりしながら、世話の仕方を決めている。 [態度] 育てている植物の成長の様子に応じて、世話を工夫しようとしている。
はなの ようすをつたえよう			
・植物の成長の様子を予想しながら、開花への期待を話したりかいたりするとともに、自分が世話を工夫したことで自分の花が元気に育ち、花が咲いたことに気付くことができるようにする。 p.32～33	2	常時活動 朝の時間や休み時間などを使って、植物の世話を続けながら、成長の様子を観察する。 ①～② 咲いた花の写真を撮ったり、これまで撮りためた写真やカード、動画等を見たりしながら、開花の喜びを伝え合い、自分の世話を振り返る。	[知技] 自分が世話を工夫したことと、自分の花が元気に育ち、花が咲いたことに気付いている。 [思判表] 植物の成長の様子を予想しながら、開花への期待を話したりかいたりしている。

たねをとろう			
・植物のたねを集めたり、栽培活動をまとめたりする中で、植物が一つのたねからたくさんのたねを増やし、生命をつないでいることに気付くとともに、世話を続けられた自分の成長を実感し、植物に親しみや愛着をもち、これからも植物を育てようとする。 p.36～37	3	常時活動 休み時間などを使って植物を観察し、たねを集める。 ①集めたたねを観察したり数えたりして、分かったことを紹介し合う。 ②これまでにかいた記録カードや撮った写真を活用して、これまでの栽培活動を振り返り、友達や先生と話す。 ③とったたねをどうするか話し合い、一人一人の思いに合わせて保存したり作品をつくったりする。	[知技] 植物が一つのたねからたくさんのたねを増やし、生命をつないでいることに気付いている。 [態度] 世話を続けられた自分の成長を実感し、植物に親しみや愛着をもち、これからも植物を育てようとしている。

単元名	なつが やってきた			教科書のページ	上 p.38～51
配当時数	8 時間	活動時期	6～7 月	学習指導要領の内容	(4) (5) (6)

単元の目標	夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けたり、遊びや遊びに使うものをつくったりして、身近な自然の様子や自然を使った遊びの面白さに気付くとともに、公共物や公共施設を安全に正しく利用しようとしたり、身近な自然を取り入れて自分の生活を楽しくしようとしたりすることができるようにする。
-------	--

単元 の 評 価 規 準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の様子や自然を使った遊びの面白さに気付いている。	夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然を全身で感じながら夏の自然を生かした遊びを楽しんでいる。	夏の自然と関わる活動を通して、公共物や公共施設を安全に正しく利用したり、身近な自然を取り入れて自分の生活を楽しくしたりしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
こういて なつを さがそう			
・校庭の自然に関わりたいたいという思いをもち、諸感覚を生かしながら、身近な自然との触れ合いを楽しむ中で、動植物や風、光など、校庭の自然の様子や特徴に気付くことができるようにする。 p.40～41	2	①校庭で、動植物や風、光などを探したり、それらの様子を観察したりする。 ②草花や樹木を利用して遊びを工夫したり、遊びに使う物を工夫してつくったりして、気付いたことを、話したり見せたり記録カードにかいたりしている。	[知技] 動植物や風、光など、校庭の自然の様子に気付いている。 [思判表] 諸感覚を生かしながら、身近な自然との触れ合いを楽しんでいる。 [態度] 校庭の自然に関わりたいたいという思いをもち、動植物や自然の特徴を探そうとしている。
こうえんで なつを さがそう			
・公園の遊具や自然物を使ってみんなで遊ぶ中で、夏の自然の様子や、公園はいろいろな人が使う場所であることに気付くとともに、身近な公共施設の特徴に応じて、安全に気を付けながら正しく公園を利用しようとしてすることができるようにする。 p.42～43	3	①～②ルールやマナーを守りながら、学校と公園を往復したり、遊具や自然物を使ってみんなで遊んだりする。 ③教室に戻ってきて、公園での活動で楽しかったことや気付いたことについて発表する。	[知技] 動植物や風、光など、夏の自然の様子や、公園はいろいろな人が使う場所であることに気付いている。 [知技(習慣や技能)] 屋外での活動に際し、熱中症対策や手洗いなど、病気の予防に努めている。 [態度] 身近な公共施設の特徴に応じて、安全に気を付けながら正しく公園を利用しようとしている。
みずで あそぼう			
・夏の自然を生かして遊びたいという思いをもち、これまでの経験を基に自分のおもちゃの動きや遊び方を想像しながら、身近な自然や身近にある物を利用して遊ぶ中で、遊びを創り出すことの面白さに気付くとともに、	2	①これまでの水遊びの経験を教え合い、水を使った夏の遊びについて話し合ってから、友達と一緒に水を使った遊びを楽しむ。 ②水を使って遊んだり、遊びに使う物を工夫してつくったりして、みんなで遊ぶ。	[知技] 身近な自然や身近にある物を利用して、遊びを創り出すことの面白さに気付いている。 [思判表] これまでの経験を基に、自分のおもちゃの動きや遊び方を想像しながら、遊んでいる。

粘り強く遊びを楽しもうとすることができるようになる。 p.44～45			[態度] 夏の自然を生かして遊びたいという思いをもち、粘り強く遊びを楽しもうとしている。
あめあがりの こうていを たんけんしよう			
・雨上がりの校庭に探検に出かけ、晴れの日と雨の日の自然の様子を比べながら、天候によって、身近な自然の様子が変化することに気付くことができるようにする。 p.46～47	外	・雨上がりの自然との関わりを楽しむ。 ・晴れの日との違いから、雨上がりの自然の特徴を見付けたことを発表したり、記録カードにかいたりする。	[知技] 天候によって、身近な自然の様子が変化することに気付いている。 [思判表] 晴れの日と雨の日の自然の様子を比べながら、雨上がりの校庭を探検している。
なつの ことを つたえよう			
・夏の活動を振り返る中で、夏の自然の特徴を生かして遊ぶことの楽しさに気付くとともに、自分たちで遊びを創り出す楽しさを実感し、これからも身近な自然で楽しく遊ぼうとすることができるようにする。 p.48-49	I	❶夏の活動を振り返り、グループごとに言葉や動作などでお薦めの遊びを紹介し合い、これからしてみたいことなどについて記録カードにかく。	[知技] 夏の自然の特徴を生かして遊ぶことの楽しさに気付いている。 [態度] 夏の自然を生かして自分たちで遊びを創り出す楽しさを実感し、これからも身近な自然で楽しく遊ぼうとしている。

単元名	いきものとなかよし			教科書のページ	上 p.52～61
配当時数	6 時間	活動時期	9 月	学習指導要領の内容	(7)

単元の目標	身近な環境にいる生き物を探したり観察したりする活動を通して、それらの育つ場所、動きや特徴に関心をもって働きかけることができ、身近な生き物の様子や特徴、生命をもっていることに気付くとともに、生き物への親しみをもち、大切にしようとすることができるようにする。
-------	---

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	身近な環境にいる生き物を探したり観察したりする活動を通して、身近な生き物の様子や特徴、生命をもっていることに気付いている。	身近な環境にいる生き物を探したり観察したりする活動を通して、生き物の育つ場所、動きや特徴に関心をもって働きかけている。	身近な環境にいる生き物を探したり観察したりする活動を通して、生き物への親しみをもち、大切にしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
むしをさがそう			
・幼児期やこれまでの経験を思い起こしながら、虫のいそうな場所を探す中で、虫の種類によって、育つ場所が異なることに気付くことができるようにする。 p.54～55	3	① 単元扉の写真を基に、校庭のどこに虫がいると思うか、これまでの経験を想起しながら伝え合う（話す）。 ② 虫を探したり観察したりする。 ③ 校庭のどこでどんな虫を見つけたかを伝え合う。	[知技] 虫の種類によって、育つ場所が異なることに気付いている。 [思判表] 幼児期やこれまでの経験を思い起こしながら、虫のいそうな場所を探している。
むしとなかよくなろう			
・虫の動きや特徴に着目しながら、自分なりの方法で表現する中で、校庭の虫の様子や特徴に気付くとともに、それらに親しみをもち、これからも生き物を大切にしようとするようにする。 p.56～57	3	①～② 校庭で虫を探し、捕まえ、教室で虫の動きや特徴を観察する。 ③ 虫の動きや特徴について、友達と話したり動作化をしたりするなど、さまざまな方法で伝え合う。虫を元いた場所（捕まえた場所）に帰す。	[知技] 校庭の虫の様子や特徴に気付いている。 [思判表] 虫の動きや特徴に着目しながら、自分なりの方法で表現している。 [態度] 虫に親しみをもち、元いた場所に帰すなどして、これからも生き物を大切にしようとしている。
どうぶつのせわをしよう			
・小動物が元気に成長できるように、小動物の立場に立って関わり方を見直ししながら、適切な仕方で世話をするとともに、それらが生命をもっていることを実感し、生き物に親しみをもち、大切にしようとするようにする。 p.60～61	外	・各学校の実態に応じて、一定期間、飼育環境を整えて動物を飼育し、観察する。	[知技] 小動物が生命をもっていることや成長していることに気付いている。 [思判表] 小動物の立場に立って関わり方を見直ししながら、世話をしている。 [態度] 小動物が生命をもっていることを実感し、生き物に親しみをもち、大切にしようとしている。

単元名	たのしい あき いっぱい			教科書のページ	上 p.62～77
配当時数	21 時間	活動時期	9～11 月	学習指導要領の内容	(5) (6)

単元の目標	秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けたり、遊びや遊びに使う物を工夫してつくったりすることができ、自然の様子や季節の変化に気付いたり、遊びの面白さや自然の不思議さに気付いたりするとともに、身近な自然を取り入れ、みんなと楽しみながら遊びを創り出し、自分の生活を楽しくしようとするができるようにする。
-------	---

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	秋の自然と関わる活動を通して、自然の様子や季節の変化、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることの面白さ、自然の不思議さに気付いている。	秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けたり、身近な自然を使って、遊びや遊びに使う物を工夫してついたりしている。	秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れ、みんなと楽しみながら遊びを創り出し、自分の生活を楽しくしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
こういて あきを さがそう			
・校庭に出かけ、幼児期や日常の経験を思い起こしながら秋の自然の特徴を探し、色や形、におい、手触りなど、秋の校庭と夏の校庭との自然の样子の違いに気付くことができるようにする。 p.64～65	3	①～②校庭で、初秋の草花や樹木、虫などの動植物を観察したり、木の実などを使ってその場で友達と簡単な遊びをしたりする。 ③夏の頃の様子と比べて、変わっているところを話したり、見せたり、記録カードにかいたりする。	[知技] 色や形、におい、手触りなど、秋の校庭と夏の校庭との自然の样子の違いに気付いている。 [思判表] 幼児期や日常の経験を思い起こしながら、秋の自然の特徴を探している。
こうえんで あきを さがそう			
・秋の自然の変化を予想しながら、夏の自然との違いを探し、身近な公園の自然の样子が、夏から秋になって変化していることに気付くことができるようにする。 p.66～67	3	①～②公園で秋を探すことについて話し合い、ルールやマナーを守りながら公園に行き、遊んだり自然を観察したりする。 ③教室に戻ってきて、公園での活動で楽しかったことや気付いたことについて話したり、見せたり、記録カードにかいたりする。	[知技] 身近な公園の自然の样子が、夏から秋になって変化していることに気付いている。 [思判表] 秋の自然の変化を予想しながら、夏の自然との違いを探している。
はっぱや みで あそぼう			
・秋の自然物のよさや特徴を生かしながら遊びに使う自然物を選んだり、遊んだりする中で、葉や実など、秋の自然の特徴に気付くとともに、季節の特徴や自然の変化に応じて秋の遊びを楽しもうとすることができるようにする。 p.68～69	3	①～②秋の自然の中で遊ぶ活動について話し合い、秋の自然の中で遊んだり、葉や木の実などの自然物を使った遊びを工夫したり、簡単なおもちゃをつくったりする。 ③秋の自然の中での遊びを振り返り、気付いたことを話したり、見せたり、記録カードにかいたりする。	[知技] 葉や実など、秋の自然の特徴に気付いている。 [思判表] 秋の自然のよさや特徴を生かしながら、遊びに使うものを選んだり遊んだりしている。 [態度] 季節の特徴や自然の変化に応じて、秋の遊びを楽しもうとしている。

あきの ことを つたえよう			
・秋の自然と関わった活動を振り返り、自分なりの秋のおすすめを選んだり伝えたりする活動を通して、季節を生かして遊ぶことに楽しさと手応えを感じ、これからも季節の遊びを楽しもうとすることができるようにする。 p.70～71	1	①秋の自然の中で活動したことについて、これまでの表現作品や写真などを見返したり順序を考えたりしながら振り返り、秋のおすすめを選び、友達と紹介し合う。	[思判表] 秋の自然と関わった活動を振り返りながら、自分なりの秋のおすすめを選び、伝えている。 [態度] 季節を生かして遊ぶことに楽しさと手応えを感じ、これからも季節の遊びを楽しもうとしている。
あきの おもちゃをつくろう			
・秋の自然物を使って楽しく遊びたいという思いをもち、さまざまな自然物を比べたり試したりしながらおもちゃをつくる中で、自然の中に一定のきまりがあることに気付くとともに、粘り強くおもちゃをつくらうとすることができるようにする。 p.72～73	7	①秋のおもちゃをつくる活動について話し合い、校庭や公園などで集めた葉や木の実、身の回りから集めた材料を使って遊ぶ。 ②～⑤おもちゃや楽器を工夫してつくりながら遊び、自分がつくったおもちゃや楽器を改良したり、つくるおもちゃを変えたりして楽しむ。 ⑥～⑦つくったおもちゃで友達と一緒に遊びながら、もっと楽しく遊べるようにつくり方や遊び方を工夫し、みんなで遊びを楽しむ。	[知技] いつも同じ現象が起こるなど、自然の中に一定のきまりがあることに気付いている。 [思判表] さまざまな自然物を比べたり試したりしながら、材料を選び、おもちゃをつくっている。 [態度] 秋の自然物を使って楽しく遊びたいという思いをもち、粘り強くおもちゃをつくらうとしている。
いっしょに あそぼう			
・園児の気持ちを想像しながらつくったおもちゃで一緒に遊ぶ中で、自分が遊びを創り出したことでみんなと楽しく遊ぶことができるようになったことに気付くとともに、これからも遊びを創り出そうとすることができるようにする。 p.74～75	4	①～②自分がつくったおもちゃで園児と一緒に遊ぶために話し合い、準備をする。 ③自分がつくったおもちゃで園児と一緒に遊びを楽しむ。 ④おもちゃをつくったことや遊んだことを振り返り、記録カードにかく。	[知技] 自分が遊びを創り出したことで、みんなと楽しく遊ぶことができるようになったことに気付いている。 [知技(習慣や技能)] みんなで創った遊びをする際に、遊びのルールを守っている。 [態度] 自分で遊びを創り出す面白さを実感し、これからも遊びを創り出そうとしている。

単元名	じぶんで できるよ			教科書のページ	上 p.78～85
配当時数	12 時間	活動時期	11～12 月	学習指導要領の内容	(2)

単元の目標	家庭生活について、調べたり、尋ねたり、実際に行ったりすることを通して、自分の家庭生活を振り返り、家庭生活を支えている家の人のことや、家の人によさ、自分でできることなどを見付け、家庭での生活は互いに支え合っていることが分かり、自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気を付けて生活しようとするができるようにする。
-------	---

単元 の 評 価 規 準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	家庭生活について、調べたり、尋ねたり、実際に行ったりすることを通して、家庭での生活は互いに支え合っていることに気付いている。	家庭生活について、調べたり、尋ねたり、実際に行ったりすることを通して、家庭における家の人のことや自分でできることなどを見付けている。	家庭生活について、調べたり、尋ねたり、実際に行ったりすることを通して、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活したりしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
いえでの せいかつを みつめよう			
・家の人の生活と比較しながら、自分の生活を見つめ直すことを通して、自分の生活リズムを整えようとするとともに、自分や家の人には、それぞれに果たしている仕事や役割があることに気付くことができるようにする。 p.80～81	3	①～② 家庭で自分が毎日していることを調べたり、家の人を見たり聞いたりして調べたことを基に、家庭での自分の1日の生活を振り返る。 ③ ワークシートを基に、自分の生活の様子や家の人を比べて気付いたことについて話し合う。	[知技] 家庭において、自分や家の人には、それぞれに果たしている仕事や役割があることに気付いている。 [知技(習慣や技能)] 家庭において、自分の生活のリズムを整えている。 [思判表] 家の人を生活と比較しながら、自分の生活を見つめ直している。
じぶんで できる ことを しよう			
・家の人の役に立ちたい、自分のことが自分でできるようになりたいという思いをもち、自分と家の人の仕事や役割を特徴でまとめたり関連付けたりしながら、自分ができるところを決めたり実際にやったりする中で、家庭での生活は、互いに支え合っていることに気付き、家庭での自分の役割を果たそうとすることができるようにする。 p.82～83	6	① 家の人が行っていることや、家の人にしてもらっていることを振り返る。 家庭 家の人が行っていることや、家の人にしてもらっていることを調べる。 ② 調べてきたことを伝え合う。 ③ 家庭で自分ができるところを考え、実施する計画を立てる。 家庭 自分ができるところに取り組む。 ④～⑤ 自分が取り組んだことを発表し合い、さらにできるところを考え、記録カードにかく。 家庭 自分が考えたところに取り組む。 ⑥ 家庭で取り組んだことを振り返り、よかったことや気付いたことを記録カードにまとめ、伝え合う。	[知技] 家庭での生活は、互いに支え合っていることに気付いている。 [思判表] 自分と家の人の仕事や役割を特徴でまとめたり関連付けたりしながら、自分ができるところを決めている。 [態度] 家の人の役に立ちたい、自分のことが自分でできるようになりたいという思いをもち、試行錯誤しながら、家庭での自分の役割を果たそうとしている。

これから つづけよう			
・活動前の自分と今の自分を比較してできるようになったことを話す中で、自分自身が家庭を構成している大切な一人であることに気づき、これから家庭での自分の役割を果たしていこうとすることができるようにする。 p.84～85	3	❶さらに続けていきたいこと、挑戦したいことを考え、記録カードにかく。 家庭・常時活動 家庭や学校で、自分が続けたいことや挑戦したいことに取り組む(1週間程度)。 ❷自分が続けていることを、グループの友達と伝え合う。 ❸(期間をおいて)自分が家庭や学校で続けていることや、続けてよかったことなどを発表し合う。	[知技] 自分自身が家庭を構成している大切な一人であることに気付いている。 [思判表] 活動前の自分と今の自分を比較して、できるようになったことを話している。 [態度] 家の人の反応や願いなどから、自分が家庭の大切な一員であることを実感し、これからも自分の役割を果たしていこうとしている。

単元名	ふゆを たのしもう			教科書のページ	上 p.86～101
配当時数	10 時間	活動時期	1 月	学習指導要領の内容	(4) (5) (6)

単元の目標	冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然の様子を比べたり、自然を利用した遊びを工夫したり、公共物や公共施設のよさを感じたり働きを捉えたりすることができ、遊びの面白さや自然の不思議さ、身近な自然の様子、季節によって生活の様子が変わること気付くとともに、身近な自然を取り入れ自分の生活を楽しくしようとするができるようにする。
-------	--

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	冬の自然と関わる活動を通して、自然の様子や四季の変化、遊びの面白さや自然の不思議さ、季節によって生活の様子が変わること気付いている。	冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然の様子を比べたり、自然を利用した遊びを工夫したり、公共物や公共施設のよさを感じたり働きを捉えたりしている。	冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れたり、公園など身の回りの公共施設を大切に利用したりして、自分の生活を楽しくしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
こういて ふゆを さがそう			
・季節の自然と関わりたいという思いをもち、これまでに関わった校庭の様子と比較しながら、冬の自然の特徴を探中で、校庭の自然の様子が冬になって変化していることに気付くとともに、冬の特徴を生かして楽しく遊ぼうとすることができるようにする。 p.88～89	2	①～②校庭で、冬の動植物を観察したり、霜柱や氷など冬特有の自然を探したり、友達と遊んだりして、気付いたことを話したり、記録カードにかいたりする。	[知技] 校庭の自然の様子が、冬になって変化していることに気付いている。 [思判表] これまでに関わった校庭の様子と比較しながら、冬の自然の特徴を探している。 [態度] 季節の自然と関わりたいという思いをもち、冬の特徴を生かして楽しく遊ぼうとしている。
こうえんで ふゆを さがそう			
・自分の生活と、公園や公園を支えている人々とのつながりを感じたり思い描いたりしながら、公園を支えている人と関わる中で、公園には自分たちが気持ちよく使えるように支えている人々がいることや、公園の自然や生活の様子が冬になって変化していることに気付くことができるようにする。 p.90～91	3	①～②ルールやマナーを守りながら公園に行き、遊んだり自然を観察したり公園にいる人と関わったりする。 ③教室に戻ってきて、公園での活動を通して気付いたことについて話したり、記録カードにかいたりする。	[知技] 公園には、自分たちが気持ちよく使えるように支えている人々がいることや、公園の自然や生活の様子が冬になって変化していることに気付いている。 [思判表] 自分の生活と、公園や公園を支えている人々とのつながりを感じたり思い描いたりしながら、公園を支えている人と関わっている。
そとで あそぼう			
・自然現象を生かしたおもちゃをつくり、実際に試したり、友達のおもちゃと比べたりしながら遊ぶ中で、自然現象の中に一定のきまりがあることに気付くことができるようにする。	3	①風などを利用して、友達と一緒に簡単な遊びを楽しむ。 ②風を利用したおもちゃをつくり、友達と一緒に遊びを楽しむ。 ③実際に遊んで気付いたことや友達の工夫を参考にして、自分のおもちゃをさらに工夫して、気付いた	[知技] 自然の現象の中に、一定のきまりがあることに気付いている。 [知技(習慣や技能)] おもちゃづくりに際し、道具や用具の準備、片付け、整理整頓ができています。

p.92～93		ことを記録カードにかく。	[思判表] 実際に試したり、友達のおもちゃと比べたりしながら、繰り返し遊びに使うものをつくりたり遊んだりしている。
ゆきや こおりで あそぼう			
・雪や氷の特徴を生かしながら、友達と遊びに使うものをつくりたり遊んだりする中で、季節の特徴を生かして遊びを創り出す面白さに気付くとともに、身近な自然の様子や季節の特徴に応じて、遊びを楽しくしようとするができるようにする。 p.94～95	外	・体全体を使って雪や氷に触れたり、雪や氷を使った遊びを工夫したりして、友達と遊びを楽しむ。 ・友達と、自分のお薦めの遊びを教え合う。	[思判表] 雪や氷の特徴を生かしながら、友達と遊びに使うものをつくりたり遊んだりしている。 [態度] 身近な自然の様子や季節の特徴に応じて、遊びを楽しくしようとしている。
きせつの ことを つたえよう			
・これまでの季節の活動を振り返る中で、身近な自然の様子や生活の様子に共通点や違いがあることに気付くとともに、季節を生かして遊ぶことのよさや楽しさを実感し、これからも季節に合わせて自分の生活を楽しくしていこうとすることができるようにする。 p.96～97	2	① 冬の自然を観察したり遊んだりしたことなどを振り返り、友達と交流する。 ② 冬の活動の様子と、夏や秋の活動の様子を季節の流れに沿って並べて振り返り、デジタル紙芝居などで表現する。	[知技] 季節の変化にともない、身近な自然の様子や生活の様子に共通点や違いがあることに気付いている。 [態度] 季節を生かして遊ぶことのよさや楽しさを実感し、これからも季節に合わせて自分の生活を楽しくしていこうとしている。
むかしから つたわる あそびを たのしもう			
・地域の人に、昔から伝わる遊びを教わったり、一緒に遊んだりする中で、地域の人と関わったり触れ合ったりすることのよさに気付き、進んで触れ合い、交流しようとするができるようにする。 p.100～101	外	・地域の人を招待したり、訪ねたりして、昔から伝わる遊びを教わり、一緒に遊ぶ。 ・楽しかったことや気付いたことを振り返り、遊びを覚えてくれた人にお礼の気持ちを伝える。	[知技] 地域の人と関わったり触れ合ったりすることのよさに気付いている。

単元名	もうすぐ2ねんせい			教科書のページ	上 p.102～111
配当時数	17 時間	活動時期	2～3月	学習指導要領の内容	(8)(9)

単元の目標	年長児と関わりを深めたり、入学してからの1年間を振り返ったりする活動を通して、1年前の自分と今の自分を比べたり、支えてくれた人々との関係を見付けたりして、自分自身の成長や、役割が増えたことに気付くとともに、支えてくれた人への感謝の気持ちと、進級への期待感や意欲をもって生活しようとするができるようにする。
-------	--

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	年長児と関わりを深めたり、入学してからの1年間を振り返ったりする活動を通して、身近な人々との関わり合いのよさや楽しさや、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどに気付いている。	年長児と関わりを深めたり、入学してからの1年間を振り返ったりする活動を通して、1年前の自分と今の自分を比べたり、支えてくれた人々との関係を見付けたりしている。	年長児と関わりを深めたり、入学してからの1年間を振り返ったりする活動を通して、これまでの成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
あたらしい1ねんせいをしょうたいしよう			
・来年度入学してくる新しい1年生に喜んでもらいたいという思いをもち、1年前の自分を思い起こして新しい1年生の気持ちや立場を想像しながら関わり方を決め、学校のことを分かりやすく伝えようとするができることとともに、新しい1年生と関わることのよさや楽しさに気付くことができるようにする。 p.104～105	6	①入学前や入学直後の気持ちを振り返り、新しい1年生と一緒に何をしたいか、何を伝えたいかについて話し合う。 ②～④新しい1年生を迎える計画を立てたり準備をしたりする。 ⑤会場を整え、全体の会を想定して準備・リハーサルをする。 ⑥～⑦新しい1年生を招待して、一緒に活動する。終わった後、気付いたことをカードにかく。	[知技] 新しい1年生と関わることのよさや楽しさに気付いている。 [思判表] 1年前の自分を思い起こして新しい1年生の気持ちや立場を想像しながら、新しい1年生との関わり方を決めている。 [態度] 新しい1年生に喜んでもらいたいという思いをもち、学校のことを分かりやすく伝えようとしている。
しょうたいしたことをはなしあおう			
・新しい1年生と関わる活動を振り返りながら、新しい1年生の気持ちや立場に寄り添った関わりができたかについて話し合う中で、自分でできるようになったことや、自分の役割が増えたことなど、自分の成長に気付くことができるようにする。 p.106～107	2	①新しい1年生と関わった際の写真や動画などを見ながら、感じたことや気付いたことを話し合う。 ②一緒に活動した幼稚園・保育所等の園児から送られてきた手紙を読み、招待した活動を通して、自分たちができるようになったことを振り返る。	[知技] 自分でできるようになったことや、自分の役割が増えたことなど、自分の成長に気付いている。 [思判表] 新しい1年生と関わる活動を振り返りながら、新しい1年生の気持ちや立場に寄り添った関わりができたかについて話し合っている。
1ねんかんをふりかえろう			
・1年前の自分と今の自分を比べながら、自分のできるようになったことを見付けたり、まとめたりする中で、友達と仲良く遊べるようになったことなど、自分	3	①写真や動画などの手がかりをもとに、1年間の出来事をみんなで振り返る。 ②～③これまでかきためてきた記録カードや作品を整理してまとめ、1	[知技] 友達と仲良く遊べるようになったことなど、自分の内面的成長に気付いている。 [思判表] 1年前の自分と今の自分を比べながら、自分のできる

の内面的な成長に気付くことができるようにする。 p.108～109		年間の成長を振り返る。	ようになったことを探したり、まとめたりしている。
おおきくなったじぶんをみつめよう			
・自分の1年間の成長をまとめる中で、自分の成長と周囲の人々との関わりを感じ、自分の成長は周囲の人々に支えられていることに気付くとともに、2年生への願いをもって意欲的に生活しようとするができるようにする。 p.110～111	6	①自分の成長をまとめる方法を考える。 ②～④自分の成長をそれぞれの方法でまとめる。 ⑤～⑥まとめたもので遊び合ったり紹介し合ったりする中で、思ったことや考えたことを話し合う。	[知技] 自分の成長は、周囲の人々に支えられていることに気付いている。 [思判表] 自分の成長と、周囲の人々との関わりを感じ、支えてくれた人々がいることについて話している。 [態度] 周囲の人々に支えられ、自分が1年間成長してきたことを実感し、2年生への願いをもって、意欲的に生活しようとしている。